

新宿ターミナル協議会における外国人旅行者の受入れ環境に関する取組

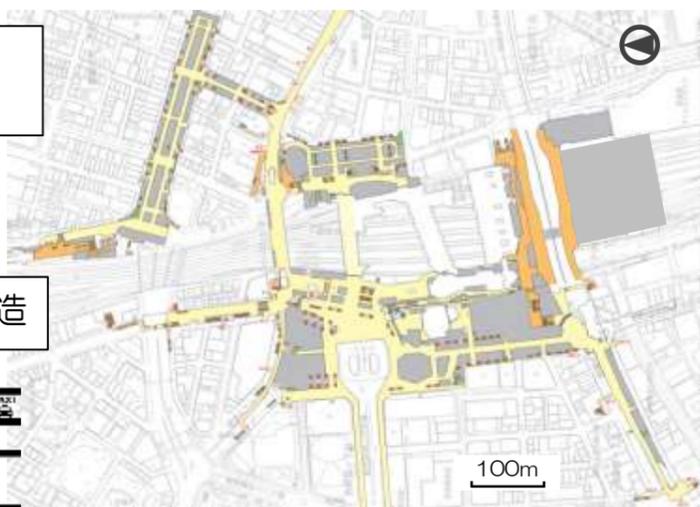
新宿ターミナルの特徴

■複数の事業者がそれぞれの区域を
独自に管理・運営

- 鉄道の乗り入れ：12路線
- 発着するバス：59路線
- TAXI タクシーのりば：3箇所

■広域かつ重層的に広がる複雑な構造

南北方向 約 1 km
東西方向 約 0.5km



現状

■サインの表記が設置者ごとに異なる

表記方法が場所によって異なり、
同一のものとも認識しにくい

・同一路線に対する名称

・同一路線に対するピクトグラム



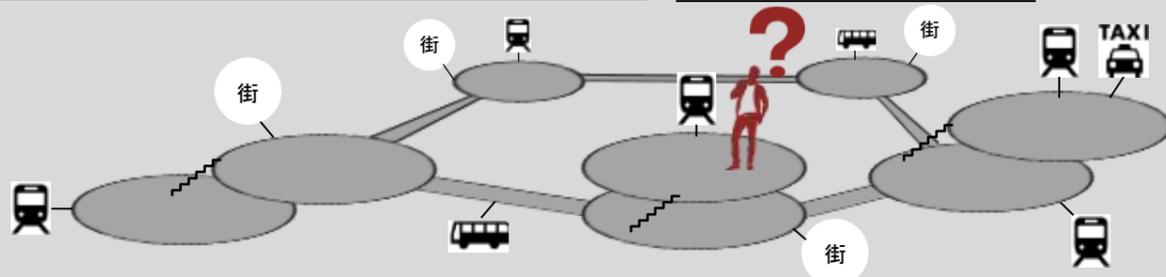
■サインの表現方法に一貫性がない

色彩やレイアウトが場所によって異なり、
同じ目的のサインだと認識しにくい

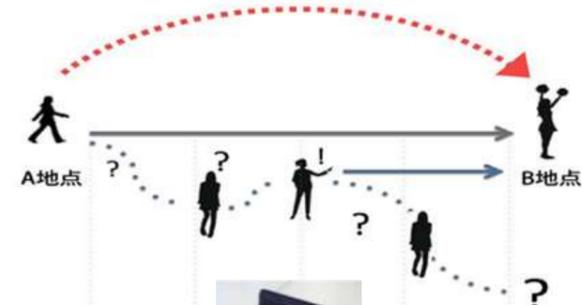


■複雑なターミナルの全体像を把握しにくい

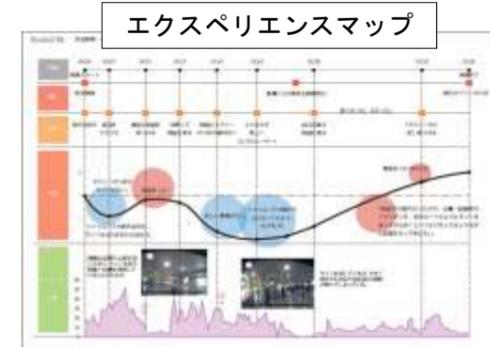
自分がいる場所と
目的地の方向がわからない



経路探索行動からみた現状の評価



感情・思考の
インタビュー



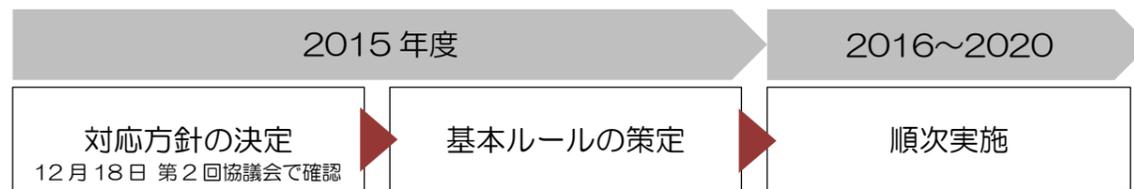
■確認された迷うポイント

表示形式の違いにより 情報を見落とす	ターミナルの全体像 がわからない
情報量・文字量が 多すぎる	地上部の案内が 不足している

取組

■共用スペースにおける共通サインの整備

日本語・英語を基本とした統一的なサインにより、
外国人旅行者も迷わずに利用できるターミナルを実現する



■ICTの活用による更なる利便性の向上

スマートフォン等の情報端末を活用し、日本語・英語以外の言語への対応等、外国人旅行者の更なる利便性の向上を図る



屋内外問わず、
自分の位置、目的
地までの経路が
詳細にわかる

「高精度測位社会プロジェクト検討会」(国土交通省) 資料より抜粋